

令和4年5月29日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 新町ウインズ 対 三苦三球会  
新町ウインズの好打者桐島選手を打ち取り完投勝利を挙げた三苦三球会鮎川投手。  
写真：雁の巣ライナース 明瀬 旭

**青松園A 中盤まで緊迫した展開を保つも…。**

ブルーマーリンズ（2敗）002 000 2 林●一石井

奈多フェニックス（1勝）220 023 9 今林（勇）○一実延（新）

**HR**：望月（フェニックス） **2BH**：西藤（奈多フ） **盗塁**：原（ブルー）今林（勇）（奈多フ）

一回表フェニックス先発の今林勇太投手は、先頭のブルーマーリンズ坂本選手に振り逃げで出塁されるも、後続を全てフライアウトで打ち取り無難な立ち上がりを見せる。一方Bマーリンズ先発の林投手は、フェニックスの先頭打者、望月選手にセンター前ヒットを浴びると、ショートゴロで走者入れ替わり、盗塁で二進を許してしまう。この先制機に三番能丸選手がキッチリ弾き返し1点先制すると、処理を焦ったレフトがボールを逸らす間に打者走者の能丸選手までホームインしてフェニックスは初回到2点を挙げた。フェニックスは続く二回にも四球の走者を置いて一番能丸選手が右中間へ2ランを放ち点差を広げる。だがBマーリンズは続く三回に反撃に移る。この回先頭の原選手がレフト前安打で出塁すると、すかさず盗塁。失策で三進すると九番林選手のショート内野安打で1点を返した。更にフェニックス内野陣の乱れにつけ込み、この回もう1点を挙げて2点差に迫った。緊迫した中盤の試合展開となったが、五回にフェニックスが相手の守備の乱れを突いて1安打で2点を追加すると、続く六回にも4安打を集中して3点を奪い、試合は決した。試合全体を通してフェニックス打線の力強い打球が印象に残る試合となった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：一ノ瀬 四恩）





試合開始、第一球。



一回裏、三塁打を放ったフェニックス西藤選手。



「四番です」フェニックス今林英二選手。



ブルーマーリンズ育成選手。



ネクストから打球を追う背番号1末松選手



WPで二進する西藤選手。



試合終了。



完投勝利の今林勇太投手と本塁打を放った望月選手。



## 青松園B 緊迫した好ゲーム！初戦を制したのは？

和白新町パイレーツ（1敗）0 2 1 0 0 1 4 川原●ー大濱

三苦ホーネッツ（1勝）1 1 2 1 0 X 5 矢野○、平川、塚ー広木

初回和白新町パイレーツの攻撃は、好投手三苦ホーネッツ矢野投手の前に簡単に三者凡退に打ち取られる。一方、ホーネッツの攻撃は本日一番打者として打席に入った広木選手が幸先よく四球で出塁すると、2四球とWPなどで簡単に先制点を挙げる。同点に追いつきたいパイレーツは、二回表四番大濱選手のヒットを皮切りに2点を返してあっさりと逆転にするもすぐさま1点を加えられ同点とされる。試合が動いたのは三回裏、ホーネッツは四番西村選手のヒット、六番稲葉選手のタイムリーなどで逆転に成功する。何とか追いつきたいパイレーツであったがホーネッツのリリーフ平川投手に四回、五回と難なく抑えられる。パイレーツは最終回に粘りを見せ、代わったホーネッツ塚投手から1点をもぎ取り同点のチャンスを作るも一歩及ばず。ホーネッツが逃げ切り、今シーズン幸先よく白星発進となった。試合途中で奈多クラブの子供たちの応援などもあり、非常に賑やかで活気のある試合であった。

（記事・写真：奈多サンデース 野々下 利生久）



入念にアップするパイレーツの選手たち。



ホーネッツ先発の矢野投手。



和白新町パイレーツ先発の川原投手。



二回表、同点のホームインするパイレーツ大濱選手。





好走塁を見せるホーネッツ川原選手。



ヒットを放つパイレーツ田中選手。



好リリーフ、ホーネッツ平川投手。



息子たち野次を飛ばされるパイレーツ八坂選手。



奈多クラブの後輩の前で見事ヒットを放つホーネッツ矢野選手。



## 奈多グラウンド 8安打13得点の三球会が快勝！

新町ウインズ（1敗）00020 2 永瀨●、大久保ー今林

三苦三球会（1勝）7033× 13 鮎川○ー蓑原、藤澤

HR：柴田、今林（新町ウ）船橋（純）（三球会） 2BH：永瀨（新町ウ）濱口（三球会）

新町ウインズは先発の永瀨投手の制球難により苦しい立ち上がり。四死球により無安打で初回から7点を献上してしまう。二回裏は二番手の大久保投手が無失点で抑えるが、三回裏には三球会打線による連打で3点を追加されてしまう。一方、三球会先発の鮎川投手は三回まで3安打無失点の好投。しかし四回裏、一死走者なしで迎えたウインズ五番柴田選手への投球はやや高めの甘いコースへ。これを捉えられ、右中間への特大の本塁打となってしまふ。続く六番今林選手にもセンターを大きく越える本塁打を放たれ、これが二者連続となりウインズが2点を返す。しかし、ウインズの反撃もここまで。四回裏には三球会も一番船橋（純）選手の本塁打を含む3点を追加しダメ押しとすると、五回表は鮎川投手がしっかりと三人で締めてゲームセット。終わってみれば三球会は8安打13得点の大勝。ウインズは初回の7失点が痛かった。（記事・写真：雁の巣ライナーズ 明瀬 旭）



三苦三球会先発の鮎川投手。



新町ウインズ先発の永瀨投手。



一回裏、得点のホームを踏む三球会塚（太）選手。



新町ウインズ二番手の大久保投手。





四回表、本塁打を放った新町ウインズ五番柴田選手。



二者連続本塁打！新町ウインズ今林選手。



四回裏、代打で出場し安打を放つ三球会永吉選手。



四回裏、本塁打を放った三球会一番船橋（純）



五回表、最後の打者を打ち取る三球会鮎川投手。